

【調査の概要】

◆いただいたご意見

「屋外放送(定時の音楽)が、日常生活に影響を及ぼす。集落へ騒音調査を行い、回数を減らすことを提案します。」

◆ご意見への対応

抽出により調査を実施して状況を把握することとする。

◆調査の方法

集落区長様から各世帯へ配付、回収。ただし、回答は無記名で提出は任意とする。

◆対象(ご意見のあった方の集落とほぼ同条件の集落を、旧校区ごとに抽出)

江尾(本町1~4丁目、新町1、2丁目) 168世帯

杉谷 22世帯

吉原 23世帯

洲河崎 36世帯

武庫 29世帯

池ノ内 38世帯

計 316世帯

【調査の結果と考察】

◆回収数 106通 (回収率 33.5%)

・回答の意思=関心の度合いと読み取れば、7割近くの人が「特に思いはない」、つまり現状で問題ないと考えていると推察する。

回答106のうち「生活に支障がある」・・・6件

・回答の中で「生活に支障がある」と答えた方が6件。このうちの1件は「支障があるも、従来どおりでよい」と回答。このことから、配布数全体316と比較で「苦痛と感じている」のは1.5%となる。

◆支障のある、なしに関わらず「見直した方がよい」とあったものの内訳

(*は、二つを選択した人を含みます)

●7時、12時、21時すべてを中止する 2

●7時を中止する 2 *

●12時を中止する 5 *

●21時を中止する 6 *

・中止を望む声も皆無ではないが、大半の方が「このままでよい」と回答し、その他自由記述欄には、時報としての機能継続を望む意見が見られた。

【以上の結果を受けた今後の対応】

①屋外定時放送については、従前のおり継続する。ただし、今年度の課題として

いる、音源の変更(ピアノ・ヴァイオリン)、楽曲の変更について、専門家の意見を伺いながら現在進行中。できるだけ「騒音」と感じられないものを考えています。

- ②スピーカーの向きなど、対応できるものは保守で個別に対応する。
- ③今後も機を見ながら、町報等でこのような「ご意見聴取」を実施する。